



(証券コード 9697)



第30期中間報告書

平成20年4月 1 日から平成20年9月30日まで

「モンスターハンターポータブル 2nd G」
「日本ゲーム大賞2008」年間作品部門において「大賞」を受賞
© CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

会社の概要

(平成20年9月30日現在)

社名	株式会社 カプコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	昭和54年5月30日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフトおよび業務用ゲーム機器等の企画、開発、製造、販売ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	330億39百万円
従業員数	1,466名(連結1,788名)
ホームページ	http://www.capcom.co.jp/

目次

●会社の概要	1
●株主の皆様へ	2
●財務ハイライト	4
●部門別の概況	5
●中間連結財務諸表	7
●株式の状況/役員の状況	9
●IR情報	10

株主の皆様へ



辻本 憲三



辻本 春弘

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに当社グループ第30期上半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間のわが国経済は、原油、原材料等の資源価格の高騰や米国の金融危機に端を発した世界的な経済減速に加え、輸出の不振、株価の下落や個人消費の落ち込みなどにより弱含みに展開し、景気は後退局面に入りました。

当業界におきましては、中高年齢者や女性など初心者層の増加によりユーザー層のすそ野が広がりましたものの、市場規模は新世代機の普及一巡や前年同期における急拡大の反動もあって縮小いたしました。

海外市場につきましては、欧米を中心に堅調な伸びを示しました。

一方、アミューズメント施設市場は、ガソリン高の影響や顧客誘引商品の不足などにより、依然として厳しい事業環境が続きました。

また、国内市場の成熟化傾向やユーザーニーズの多様化など産業構造の変化を反映して、国内外において新たな業界再編の動きが出てまいりました。

こうした状況下、当社グループはプレイステーション・ポータブル用ソフトとして初めてダブルミリオンを達成し、一種の社会現象を引き起こした看板タイトル「モンスターハンターポータブル 2nd G」や多様な提携ソフトを投入するとともに、「モンスターハンター夏期講習'08」、「逆転裁判 特別法廷2008オーケストラコンサート」および「ロックマン サマーフェスティバル2008」など、各種イベントの開催や積極的なプロモーション活動を推進してまいりました。

また、成長余力が大きい海外展開を加速させるため、英国子会社を通じてフランスに欧州で3カ所目の拠点となる完全子会社「カプコン・エンタテインメント・フランスSAS」を設立いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高312億36百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

利益面につきましては、「モンスターハンターポータ

ブル 2nd G」(プレイステーション・ポータブル用)の際立った貢献により営業利益33億57百万円(前年同期比9.8%増)、経常利益は為替差益の発生などにより41億15百万円(前年同期比21.2%増)、中間純利益18億73百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

なお、中間配当につきましては、1株につき15円の普通配当に創業25周年記念配当5円を加え、1株当たり20円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、当業界は、景気停滞や消費支出の多様化などによる影響はありますものの、おおむね堅調に推移するものと思われま

す。また、市場環境の変化に対応して生き残りをかけた合併、経営統合や合従連衡など、異業種を巻き込んだ再編が進むことも予想され、企業間競争は一段と厳しくなるものと思料します。

こうした情勢のもと、当社グループは持続的成長を推し進めるため、世界の三大市場である日米欧の多様な顧客ニーズに対応した機動的な開発展開、戦略的なマーケティング活動や直販体制の強化などにより業績の向上を図ってまいります。

このため、ゲーム機、遊技機、携帯電話やパソコンなどの各ハードに魅力のあるソフトを供給できるよう、看板タイトルの充実、他社との提携ソフトによる商品ラインナップの拡充やコンテンツの強化に努めると

ともに、顧客満足度の向上や競争力の優位性を確保することにより、新規市場の開拓や既存市場の深耕に努め、業容の拡大に全力を傾注してまいります。

一方、来年から「ロスト プラネット」や「ストリートファイター」等、当社の人気ゲームソフトを題材にしたハリウッド映画の全世界公開が順次予定されており、有力コンテンツによるメディアミックス展開により海外市場の拡大に弾みをつけるとともに、当社ゲームソフトの知名度のアップやブランド価値を高めるなど、相乗効果を創出することが期待できます。

こうした、関係会社を含めたグローバルな事業展開や開発体制の拡充、業務の効率化などにより、安定した収益が確保できる経営体制の強化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

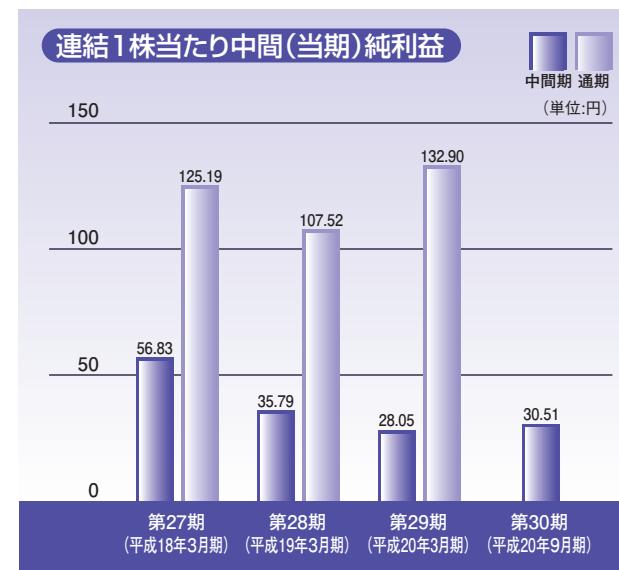
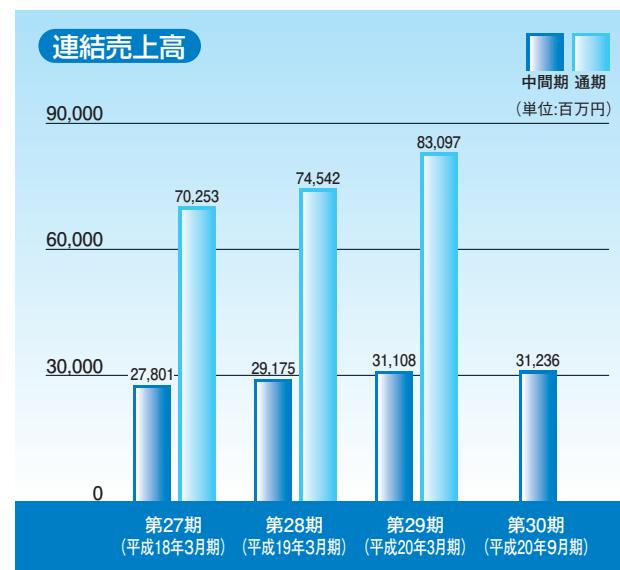
平成20年11月

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

辻本憲三

代表取締役社長
最高執行責任者(COO)

辻本春弘



コンシューマ用ゲームソフト部門

「モンスターハンターポータブル 2nd G」(プレイステーション・ポータブル用)が圧倒的な人気により快走を続け、累計出荷本数が250万本を達成するなど市場を席卷いたしました。因みに、同シリーズの躍進が携帯型ゲーム機「プレイステーション・ポータブル」普及のけん引役を果たしたことにより、ソフトの販売動向がマスコミや市場関係者の耳目を集めました。

また、オンライン要素を充実させた「ロスト プラネット コロニーズ」(Xbox 360、パソコン用)も底堅い売行きを示しました。

その他は、提携ソフトや小型タイトルなどの販売が大半を占めたが、全体として好調に推移いたしました。

この結果、売上高は164億86百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益36億37百万円(前年同期比47.9%増)となり、「モンスターハンターポータブル 2nd G」の貢献により増収増益となりました。



「モンスターハンターポータブル 2nd G」
(プレイステーション・ポータブル用)

雄大な自然の中で、巨大なモンスターに立ち向かうハンティングアクションゲーム。前回の内容に加え「友人と協力して新たなモンスターに挑む」という魅力的な追加要素を盛り込み、新たな顧客も獲得しました。



「ロスト プラネットコロニーズ」
(Xbox360、パソコン用)

極寒の星に隠された真実を解明していくアクションシューティングゲーム。各ハードに対応した当社が推し進めるマルチプラットフォームの代表的作品で、映画「ロスト プラネット」は全世界での公開を予定しております。

アミューズメント施設運営部門

停滞感に覆われ市場の冷え込みが続く状況下、清潔で明るく楽しい快適空間作りなど、顧客志向に立った店舗運営によりリピーターの確保や女性、ファミリー層などの取り込みを図ってまいりました。

しかしながら、けん引機種不足や地域間競争の激化に加え、客足や客単価の落ち込みなど、苦戦を強いられました。

同事業環境は当面厳しい状況が続くことが予想され、市況回復には一定の期間を要するものと思われます。

なお、新規出店といたしましては、島根県に1店舗オープンするとともに、不採算店1店舗を閉鎖いたしました。これにより、中間期末の施設数は42店舗となっております。

この結果、売上高は前期の出店効果により68億47百万円(前年同期比7.4%増)と増収になりましたが、営業利益は収益環境の悪化により苦戦を強いられたため、2億31百万円(前年同期比66.1%減)と減益になりました。



「プラサカブコン大曲店」

平成20年10月11日にイオン大曲ショッピングセンター(秋田県)にオープンしたアミューズメント施設。ドイツの町並みをイメージした店内は非日常感と遊び心にあふれています。

業務用機器販売部門

需要低迷を背景とした施設オペレーターへの投資抑制の中、家庭用ゲームソフト等との相乗展開を図るため、「AOU2008アミューズメント・エキスポ」のビデオ基板部門で人気1位となった「ストリートファイターⅣ」が順調に販売を伸ばすとともに、「戦国BASARA X(クロス)」および「フェイト/アンリミテッドコード」も根強いブランドやそれぞれの持ち味を活かした商品展開により底堅い売行きを示しました。

この結果、売上高は新機種の投入効果により40億79百万円(前年同期比196.2%増)と増収になり、営業利益は7億37百万円(前年同期は5億70百万円の営業損失)と黒字に転換いたしました。



「ストリートファイターⅣ」

全世界で大流行した対戦格闘ゲームの続編です。シリーズの伝統的なファイトアクションや馴染みのキャラクターはそのままに、新型ゲーム機の性能を発揮した美しいグラフィックや新システムの追加により格闘ゲームファンから過去のシリーズ経験者まで幅広い層に楽しくプレイできる内容になっています。

コンテンツエキスパンション部門

人気ソフトとの横展開を図ってまいりましたが、携帯電話向けゲーム配信事業を先導してきた「逆転裁判」の人気に陰りが見え始めるなど、軟調に推移いたしました。また、遊技機向け関連機器については、「バイオハザード」が手堅い売行きを示しましたものの、期待の「春麗にまかせチャイナ」の出荷が少数にとどまったことにより計画未達となるなど、総じて低水準で終始いたしました。

この結果、売上高は25億47百万円(前年同期比54.9%減)、営業利益2億61百万円(前年同期比86.0%減)と減収減益を余儀なくされました。



「biohazard」
(パチスロ機)

平成8年に発売されたサバイバルホラーゲーム「バイオハザード」をパチスロ機向けに展開しました。バイオハザードシリーズの1作目のリメイク作品をモチーフとしています。

その他の部門

その他事業におきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は12億83百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益5億22百万円(前年同期比69.7%増)となりました。



Character Wayne by © Lee Byung Hun / BH Entertainment CO., LTD.
© CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
© CAPCOM U.S.A., INC. ALL RIGHTS RESERVED.
© CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED. / © YAMASA CO., Ltd. All Rights Reserved.

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成20年9月30日現在)	前中間期 (平成19年9月30日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)	科目	期別	当中間期 (平成20年9月30日現在)	前中間期 (平成19年9月30日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
【資産の部】					【負債の部】				
流動資産		61,904	54,863	62,505	流動負債		30,892	15,546	34,818
現金および預金		33,248	32,342	32,763	支払手形および買掛金		7,431	5,657	7,303
受取手形および売掛金		5,514	7,478	14,182	短期借入金		773	2,155	2,015
たな卸資産		6,771	3,764	4,144	1年以内償還予定の転換社債		14,993	—	14,997
ゲームソフト仕掛品		11,559	6,233	6,241	賞与引当金		679	609	2,057
繰延税金資産		2,910	2,926	3,009	その他		7,015	7,123	8,444
その他		2,175	2,505	2,620	固定負債		6,074	22,604	5,128
貸倒引当金	△	274	386	456	転換社債		—	15,000	—
固定資産		30,842	31,862	31,101	新株予約権付社債		400	3,510	1,220
有形固定資産		16,148	16,033	15,253	長期借入金		2,422	1,680	1,470
建物および構築物		5,579	6,018	5,442	その他		3,251	2,414	2,438
アミューズメント施設機器		3,432	3,561	3,849	負債合計		36,967	38,150	39,946
建設仮勘定		162	308	291	【純資産の部】				
その他		6,973	6,144	5,669	株主資本		58,199	48,842	56,447
無形固定資産		4,445	3,118	4,091	資本金		33,039	31,479	32,626
投資その他の資産		10,248	12,709	11,755	資本剰余金		21,128	19,198	20,344
投資有価証券		1,767	1,526	1,728	利益剰余金		12,044	6,312	11,631
繰延税金資産		1,452	4,784	2,989	自己株式	△	8,012	8,147	8,155
その他		8,251	8,166	8,218	評価・換算差額等	△	2,419	267	2,787
貸倒引当金	△	1,222	1,767	1,179	その他有価証券評価差額金		174	329	127
資産合計		92,747	86,725	93,606	その他	△	2,594	597	2,914
					純資産合計		55,779	48,574	53,660
					負債純資産合計		92,747	86,725	93,606

POINT 資産の部

流動資産は、現在開発中のゲームソフト仕掛品の増加がありましたものの、受取手形および売掛金が大幅に減ったことにより、前期末に比べ6億1千万円減少し、619億4千万円となりました。
固定資産は、アミューズメント施設機器の減少などにより、前期末に比べ2億58百万円減少し、308億42百万円となりました。
この結果、資産合計は前期末に比べ8億59百万円減少し、927億47百万円となりました。

POINT 負債の部

流動負債は、短期借入金の返済などにより、前期末に比べ39億25百万円減少し、308億92百万円となりました。
固定負債は、長期借入金の借入による増加などにより、前期末に比べ9億46百万円増加し、60億74百万円となりました。
この結果、負債合計は前期末に比べ29億79百万円減少し、369億67百万円となりました。

POINT 純資産の部

純資産合計は、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債等の権利行使が進んだことに伴い、資本金および資本剰余金が増えたことなどにより、前期末に比べ21億19百万円増加し、557億79百万円となりました。なお、自己資本比率は60.1%となっております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高		31,236	31,108	83,097
売上原価		19,161	19,970	50,503
売上総利益		12,074	11,138	32,594
販売費および一般管理費		8,716	8,079	19,473
営業利益		3,357	3,058	13,121
営業外収益		1,060	838	1,416
受取利息および配当金		424	665	1,161
その他		635	172	254
営業外費用		302	501	2,269
支払利息		41	36	71
その他		261	464	2,198
経常利益		4,115	3,395	12,267
特別利益		4	235	762
特別損失		148	381	1,068
税金等調整前中間(当期)純利益		3,971	3,249	11,962
法人税、住民税および事業税		305	280	1,040
法人税等調整額		1,793	1,382	3,131
少数株主損失		—	16	16
中間(当期)純利益		1,873	1,603	7,807

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		2,722	203	7,452
投資活動による キャッシュ・フロー	△	1,820	1,276	3,374
財務活動による キャッシュ・フロー	△	1,440	1,205	2,448
現金および現金同等物 に係る換算差額		721	△ 399	△ 3,887
現金および現金同等物 の増減額		182	△ 2,677	△ 2,256
現金および現金同等物 の期首残高		32,763	35,020	35,020
新規連結に伴う現金および 現金同等物の増加額		302	—	—
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		33,248	32,342	32,763

POINT 売上高

コンシューマ用ゲームソフト部門の続伸や業務用機器販売部門などが増加しましたが、コンテンツエキスパンション部門の落ち込みなどにより、312億36百万円(前年同期比0.4%増)と横ばいとなりました。

POINT 営業利益

前期に発売した「モンスターハンターポータブル 2nd G」(プレイステーション・ポータブル用)の大ヒットによる売上原価率の改善により、33億57百万円(前年同期比9.8%増)と増益となりました。

POINT 中間純利益

営業利益の増加に加え、為替差益の計上による営業外収益の増加等により、18億73百万円(前年同期比16.8%増)と増益となりました。

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,394,568株
- 株主数 13,671名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	出資比率 %
有限会社クロスロード	6,771	10.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,536	9.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,924	8.79
辻本憲三	2,306	3.42
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	2,206	3.27
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託Y口)	2,191	3.25
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,729	2.57
辻本美之	1,669	2.48
辻本春弘	1,546	2.29
辻本良三	1,545	2.29

(注) 出資比率については、自己株式数(5,659千株)を控除して算出しております。

役員の状況 (平成20年9月30日現在)

- 取締役および監査役
- | | |
|-------------------------|------|
| 代表取締役会長
最高経営責任者(CEO) | 辻本憲三 |
| 代表取締役社長
最高執行責任者(COO) | 辻本春弘 |
| 取締役 | 初野純孝 |
| 取締役 | 飛澤宏 |
| 取締役
最高財務責任者(CFO) | 阿部和彦 |
| 取締役 | 小田民雄 |
| 取締役 | 堀紘一 |
| 取締役 | 保田博 |
| 取締役 | 松尾眞 |
| 監査役(常勤) | 山口省二 |
| 監査役(常勤) | 平尾一氏 |
| 監査役 | 家近正直 |
| 監査役 | 滝藤浩二 |

- (注) 1. 取締役 堀 紘一、保田 博および松尾 眞の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 山口省二および滝藤浩二の両氏は、社外監査役であります。

IR情報

●カプコンIRサイトのご案内 <http://ir.capcom.co.jp/>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。
カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者インタビューなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて各評価機関より高い評価をいただいております。



最新情報

いま注目すべきIR情報を大きく中央に表示していることに加え、新着情報やプレスリリースなどの最新情報を素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

IR資料室

マーケットデータや人気ソフトの販売本数をグラフや画像等でわかりやすく掲載するとともに、決算説明会の模様をパソコン上で閲覧できるだけでなく、動画をポッドキャストにも対応させるなど、豊富な情報を取り揃えております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう「当社の強み」や「市場動向」などをわかりやすくご説明しております。

カプコンIRメール

メールアドレスをご登録いただきますと、プレスリリースや決算資料などの最新情報をメールにてお知らせいたします。

『アニュアルレポート2008』発行

経営トップ自らが、中長期の経営課題に対する具体的施策をQ&A方式にて明快に解説しております。また今後の事業戦略について、強みである多メディア展開や海外での組織体制の更なる強化など安定成長に向けた様々な取り組みを詳解しており、投資家の皆様により理解を深めていただくため内容の充実を図っております。ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。

株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623

携帯からもIR情報へアクセス <http://m-ir.jp/c/9697>

当社の業績概況や株式情報が携帯電話から閲覧できるほか、株価の終値や最新のリリース情報も取得できます。QRコード(二次元コード)の読み取りに対応した携帯電話をお持ちの方は右の画像を読み込むと簡単にアクセスできます。



※読み取り方法についてはお手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中
基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0004
(お問合わせ先) 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)0120-094-777

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
(下記ご注意ください)

○株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

電話(通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
ホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告方法 電子公告
当社のホームページ(<http://www.capcom.co.jp/>)に掲載します。
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場金融商品取引所 東京・大阪証券取引所

(ご注意)株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止します。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社の本支店でお支払いします。